



経済統計・イベント スケジュール

情報提供資料

2017年10月23日

“大和投資信託”ツイッター

@DaiwaAM

先週の主な経済統計・イベント

【経済統計】

日付	国	項目	結果	市場予想	前回	傾向
16日(月)	日本	9月首都圏新規マンション発売(前年比)	-13.0%	-	+6.9%	▼
	中国	9月消費者物価指数(前年比)	+1.6%	+1.6%	+1.8%	▼
	米国	10月NY連銀製造業景気指数	+30.2pt	+20.4pt	+24.4pt	▲
17日(火)	NZ	7-9月期消費者物価指数(前年比)	+1.9%	+1.8%	+1.7%	▲
	英国	9月消費者物価指数(前年比)	+3.0%	+3.0%	+2.9%	▼
	ドイツ	10月ZEW景況感指数	17.6pt	20.0pt	17.0pt	▲
	米国	9月輸入物価指数(前年比)	+2.7%	+2.6%	+2.1%	▲
		9月鉱工業生産(前月比)	+0.3%	+0.3%	-0.7%	▲
9月設備稼働率		76.0%	76.2%	75.8%	▲	
18日(水)	日本	10月NAHB住宅市場指数	68pt	64pt	64pt	▲
	日本	9月訪日外客数	228.0万人	-	247.8万人	▼
	米国	9月住宅着工件数(年換算)	112.7万件	117.5万件	118.3万件	▼
19日(木)	日本	9月貿易収支	+6,702億円	+5,568億円	+1,126億円	▲
	豪州	9月雇用者数(前月比)	+1.98万人	+1.50万人	+5.30万人	▼
	豪州	9月失業率	5.5%	5.6%	5.6%	▲
	中国	7-9月期実質GDP(前年比)	+6.8%	+6.8%	+6.9%	▼
		9月小売売上高(前年比)	+10.3%	+10.2%	+10.1%	▲
		9月都市部固定資産投資(年初来/前年比)	+7.5%	+7.7%	+7.8%	▼
		9月鉱工業生産(前年比)	+6.6%	+6.5%	+6.0%	▲
	米国	10月フィデリア連銀製造業景況感指数	+27.9pt	+22.0pt	+23.8pt	▲
		9月CB景気先行総合指数(前月比)	-0.2%	+0.1%	+0.4%	▼
	20日(金)	カナダ	9月消費者物価指数(前年比)	+1.6%	+1.7%	+1.4%
カナダ		8月小売売上高(前月比)	-0.3%	+0.5%	+0.4%	▼
米国		9月中古住宅販売件数(年換算)	539万件	530万件	535万件	▲

【イベント】

日付	項目	結果
16日(月)	日米経済対話(第2回会合)	「米国産自動車の輸入手続きを合理化する」など
18日(水)	中国共産党第19回全国代表大会	10月24日まで開催
	米国ベージュブック(地区連銀経済報告)	「米国経済は全地区で緩やかに拡大」
22日(日)	日本 衆議院選投票	与党(自民党・公明党)が圧勝

※ 前回に関しては、結果が改定値である場合は改定前の数値、その他は前月(前四半期)の数値。市場予想はブルームバーグによる。傾向は一般的な判断において(消費者物価に関しては各国中銀の目標に対して)、前回対比で改善した場合『▲』、悪化した場合『▼』と定義。

※ 日付は現地。予定は変更となる場合があります。

豪州では、9月の雇用統計が発表され、失業率が5.5%と2013年2月以来の低水準まで改善しました。中国の7-9月期実質GDPは前年比+6.8%と前期から減速しました。一方で、9月の小売売上高と鉱工業生産は、前年比の伸び率が市場予想を上回り、前月から上昇しました。

今週の主な予定

【経済統計】

日付	国	項目
23日(月)	日本	9月全国百貨店売上高
	米国	9月シカゴ連銀全米活動指数
25日(水)	豪州	7-9月期消費者物価指数
	ドイツ	10月Ifo景況感指数
	英国	7-9月期GDP
	米国	9月耐久財受注
		8月FHFA住宅価格指数
メキシコ	9月新築住宅販売件数	
26日(木)	NZ	9月貿易収支
	韓国	7-9月期GDP
	米国	9月中古住宅販売契約
27日(金)	日本	9月消費者物価指数
	豪州	7-9月期生産者物価指数
米国	7-9月期GDP	

【イベント】

日付	項目
25日(水)	カナダ中銀政策金利発表
	ブラジル中銀政策金利発表
26日(木)	トルコ中銀政策金利発表
	ECB定例理事会
27日(金)	ロシア中銀政策金利発表

(出所) 作成時点の各種資料より大和投資信託作成

ワンポイント

日経平均株価の連騰記録は過去最長に並ぶ

- ▶ 日経平均株価は10月2日から20日まで14営業日連続で上昇し、1960年12月から翌年1月にかけて達成した過去最長記録に並びました。しかし、この間の上昇率は合計で5.4%にとどまり、過熱感が高まっているとは言えません。
- ▶ 10月20日時点の日経平均株価の予想PERは15.0倍であり、S&P500の19.5倍と比べても割安です。また、アベノミクス相場のピークである23.4倍(2013年4月25日)と比べても依然低い水準にあり、今後の上昇余地もあります。
- ▶ 22日の衆議院選では与党の圧勝により、アベノミクスの継続が決定的となりました。また、今週から4-9月期の決算発表も本格化し、国内外の景気回復を背景に好決算が期待されており、日本株の上昇相場はこれから本番かもしれません。

【図表】 日経平均株価とS&P500の予想PERの推移



※ 日経平均株価に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。同社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの「投資信託説明書(交付目録見書)」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会